

瀬戸内国際芸術祭2019

Setouchi Triennale 2019

企画発表会

日時 | 平成 30 年 11 月 7 日[水] 18:00-19:30

場所 | 東京ミッドタウン ホール&カンファレンス ホールB

主催 | 瀬戸内国際芸術祭実行委員会

(会期)

春(ふれあう春): 4月26日(金) - 5月26日(日) 夏(あつまる夏): 7月19日(金) - 8月25日(日) 秋(ひろがる秋): 9月28日(土) - 11月4日(月)



瀬戸内国際芸術祭2019

Setouchi Triennale 2019

企画発表会

プログラム

18:00 開 会

【第1部】

開会挨拶

瀬戸内国際芸術祭実行委員会会長

(香川県知事)

浜田 恵造 (ビデオメッセージ)

瀬戸内国際芸術祭総合プロデューサー

(公益財団法人福武財団理事長)

福武 総一郎

瀬戸内国際芸術祭 2019

企画概要発表

瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター

北川 フラム

【第2部】

レセプション

瀬戸内の魅力を味わっていただける軽食を試食していただきながら、瀬戸内国際芸術祭 2019 の企画内容をご紹介します。

19:30 閉 会

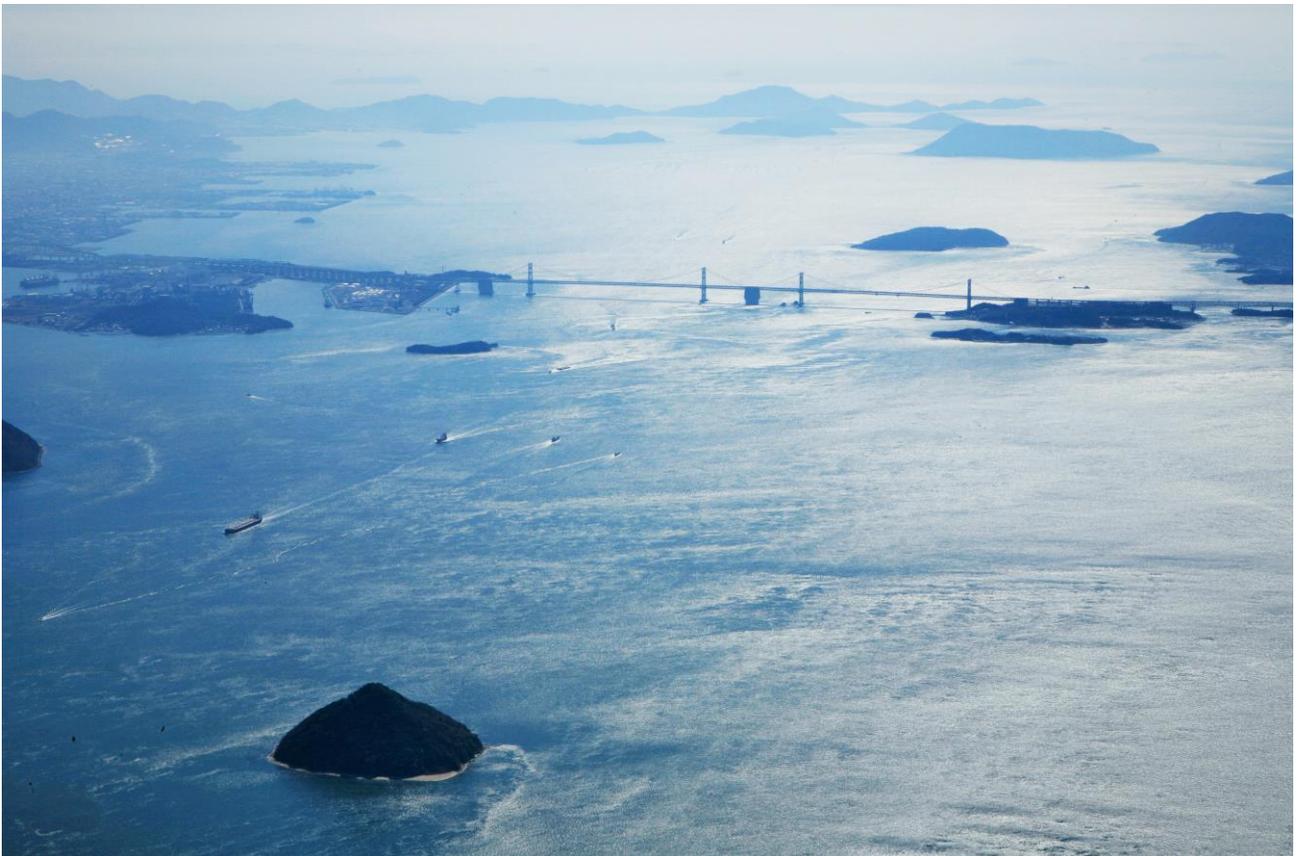
瀬戸内国際芸術祭とは

テーマ：海の復権

「島のおじいさんおばあさんの笑顔を見たい。」－そのためには、人が訪れる“観光”が島の人々の“感幸”でなければならず、この芸術祭が島の将来の展望につながって欲しい。このことが、当初から掲げてきた目的＝『海の復権』です。

有史以来、日本列島のコブクロであった瀬戸内海。この海を舞台に瀬波津からの近畿中央文化ができたこと、源平、室町、戦国時代へとつながる資源の争奪の場であったこと、北前船の母港として列島全体を活性化したこと、朝鮮通信使による大切な大陸文化の継続した蓄積の通路であったことは、その豊かさを物語るものでした。しかしこの静かで豊かな交流の海は近代以降、政治的には隔離され、分断され、工業開発や海砂利採取等による海のやせ細りなど地球環境上の衰退をも余儀なくされました。そして世界のグローバル化・効率化・均質化の流れが島の固有性を少しずつなくしていく中で、島々の人口は減少し、高齢化が進み、地域の活力を低下させてきたのです。

私たちは、美しい自然と人間が交錯し交響してきた瀬戸内の島々に活力を取り戻し、瀬戸内海が地球上のすべての地域の『希望の海』となることを目指し、瀬戸内国際芸術祭を開催しています。



これまでの瀬戸内国際芸術祭

瀬戸内国際芸術祭 2010

会 期 | 2010年7月19日-10月31日 計105日間

会 場 | 直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、高松港周辺

作 品 | 76作品、16イベント(18の国と地域から75組のアーティスト・プロジェクトが参加)

来場者 | 約93万人

瀬戸内国際芸術祭 2013

会 期 | 春：2013年3月20日-4月21日、夏：2013年7月20日-9月1日

秋：2013年10月5日-11月4日 総計108日間

会 場 | 直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、沙弥島、本島、高見島、粟島、伊吹島、高松港周辺、宇野港周辺

作 品 | 207作品、40イベント(26の国と地域から200組のアーティスト・プロジェクトが参加)

来場者 | 約107万人

瀬戸内国際芸術祭 2016

会 期 | 春：2016年3月20日-4月17日、夏：2016年7月18日-9月4日

秋：2016年10月8日-11月6日 総計108日間

会 場 | 直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、沙弥島、本島、高見島、粟島、伊吹島、高松港周辺、宇野港周辺

作 品 | 206作品、37イベント(34の国と地域から226組のアーティスト・プロジェクトが参加)

来場者 | 約104万人

瀬戸内国際芸術祭 2019

4回目となる瀬戸内国際芸術祭 2019においても、これまで同様、海に囲まれどこからでもアプローチでき、農・工・商が混在した原初の人びとの存在を教えてくれる瀬戸内の島巡りを通し、この先地球上に人が生きること、展望を持つことを考えながら、プロジェクトを展開していきます。

コンセプト

1 アート・建築－地域の特徴の発見

瀬戸内の持つ美しい景観と自然の中で流れてきた時間、文化、歴史を活かして展開されるアートや建築は、その場所へ人を惹きつける力を持ちます。

2 民俗－地域と時間

それぞれの地域・島で育まれてきた固有の民俗、農業や漁業、獅子舞等のお祭り、丁場や産業遺産、盆栽等瀬戸内の島々に継承される多様な生活・芸術を活かします。

3 生活－住民（島のお年寄りたち）の元気

島々で営まれてきた生活、歴史に焦点を当て、島外の人々の参加を得たイベントをきっかけに、地域再生の機会を探ります。

4 交流－日本全国・世界各国の人々が関わる

世代・地域・ジャンルを超えた人々が集い、地域の人々と協働し、作品を創り上げ、地域の再生を目指します。

5 世界の叡智－この地を掘り下げ、世界とつながる場所に

地元の大学などと連携しながら、芸術祭を通して地域で活動し、美術や建築、音楽、パフォーミングアーツ、科学、文学、思想、国際交流等、さまざまな分野が集い、これらがやがて地域固有の文化に光を当て、地域再興の灯台となるように動きます。

6 未来－次代を担う若者や子どもたちへ

次代を担う若者や子どもたちが、芸術祭を作るプロセスを共有し、世代・地域を越えて集まる人々と協働します。

7 縁を作る－通年活動

島間の交流を活発化し、それぞれの地域が独自に動き、そこから新しい島と瀬戸内海再生の機会を生んでいくように活動します。

重点プロジェクト

島の魅力を発見し、「あるものを活かし新しい価値を生み出す」サイトスペシフィックなアートプロジェクトの進展の他に、「瀬戸内の資源」、「アジアの各地域」そして「島の『食』」を重点プロジェクトとして展開し、個別プロジェクトの一層の充実を図ります。

また、アートと地域との関わりを多角的に広げていくため、芝居や舞踏などのパフォーマンスを積極的に展開します。

～より深く地域を掘り下げるために～

「瀬戸内の資源 × アーティスト」

瀬戸内の特産品や農水産物等に焦点を当て、アーティストが美術的な工夫を凝らすことで、来場者に面白く体験してもらえるようなプロジェクトを、高松港周辺を中心に展開します。

<うちわ × 西堀隆史> (高松港周辺)



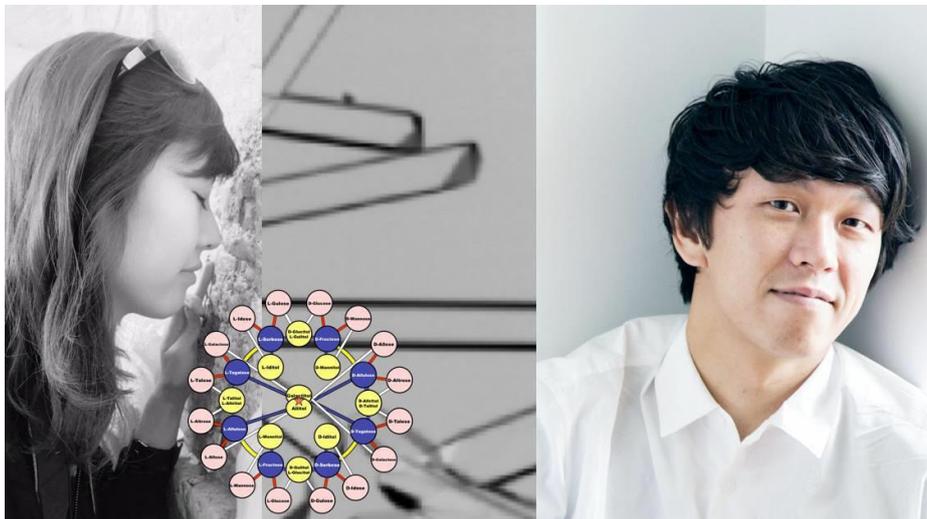
西堀隆史「時の廊下」(過去作品)
Photo:Kimito Takahashi

<盆栽 × 平尾成志 × 瀬ト内工芸ズ。>
(高松港周辺)



平尾成志 × 瀬ト内工芸ズ。/香川県盆栽振興協議会「feel feel BONSAI」(過去作品)
Photo:Yasushi Ichikawa

<希少糖 × 太田泰友 × 岡薫 / 香川大学国際希少糖研究教育機構>
(高松港周辺)



(左が岡薫氏、右が太田泰友氏、中央写真は希少糖の結晶、模式図は希少糖元素記号)

等々

～より広く海を通して世界とつながるために～

「アジアの各地域 × 瀬戸内の島々」

グローバル化の中で、海外、特にアジアの国々が瀬戸内国際芸術祭に寄せる関心は極めて高くなっており、そうした国々のアーティスト等と瀬戸内の島々とが連携し、プロジェクトを展開します。

小豆島の福田地区ではアジア 7 つの地域と、アートと食を通して活動をしていきます。伊吹島に主としてインドネシアのアーティストたちが、粟島にベトナムのアーティスト・パフォーマーが作品を展開します。島と外国とのつながりは深くなります。

また、サポーターの相当数がアジア各国からの参加者となることが見込まれ、第1回の2010年から続いている、各国からの識者が集まるアジアフォーラムはますます拡がりを増し、世界の課題とアートの役割を議論していきます。

<福武ハウス> (小豆島)



「福武ハウス—アジア・アート・プラットフォーム」
Photo:Yasushi Ichikawa

<リチャード・ストライトマター・トラン (ベトナム)> (粟島)



リチャード・ストライトマター・トラン「September Sweetness」(2008)

<メラ・ヤルスマ+ニンデティヨ・アルディプルノモ (インドネシア)> (伊吹島)



Mella-Jaarsma「Dogwalk」(過去作品)

<アジアフォーラム> (小豆島)



瀬戸内アジアフォーラム
Photo:Shintaro Miyawaki

～食を通して地域と深く関わるために～

「島の『食』 × アーティスト」

瀬戸内の島々に残る伝統的な『食』を、アーティストが掘り起こし、アップデートして提供することで、来場者に、島の歴史・風土を感じ、地域の人々とのふれあいを味わってもらえるプロジェクトを展開します。

<暦 こよみ> (小豆島)



郷土料理 暦 こよみ「本から生まれる一皿 ～壺井栄と庚申の夜～」

<イアラ 女木島> (女木島)



レアンドロ・エルリッヒ「不在の存在」(レストラン イアラ 女木島)
Photo:Osamu Nakamura

<島キッチン> (豊島)



安部良「島キッチン」
Photo:Osamu Nakamura

<カフェ・シヨル> (大島)



カフェ・シヨル

等々

～イベント・パフォーマンスを通して地域に多角的に関わるために～

「芝居・舞踏の多様な展開」

公募を含めて芝居・ダンス等、パフォーマンスの比重が高まって来ました。

例えばオランダのクリスティアン・バステアンスは、大島のハンセン病をテーマにした「貴重な荷物」をインスタレーション化するとともに世界的女優リブ・ウルマンや笈田ヨシ、大野慶人、石橋静河が出演する公演を行います。

また台湾を中心とした数百人のアカペラ合唱団、Vocal Asia が各島で歌うなど、新しい試みを展開します。

<クリスティアン・バステアンス> (大島、高松港周辺)



クリスティアン・バステアンス(参考画像)

<Vocal Asia> (高松港周辺、広域・回遊)



Vocal Asia(台湾)

等々

アートサイトの展開

瀬戸内国際芸術祭 2019 のアートサイト整備においては、これまでに引き続き地域の資源を明らかにするアートプロジェクト・イベントを展開するとともに、活動を継続してきた各プロジェクトの一層の充実を図ります。

主な新規参加作家・プロジェクト

<世界で活躍するアーティストと建築家がコラボレーション>

塩田千春 × 田根剛

新国立競技場基本構想デザイン競技でファイナリストに選ばれ国際的な注目を集めた、フランスを拠点に活躍する建築家が、2010年から参加の塩田千春と組む。塩田の「遠い記憶」を撤去するその場所で、2人のコラボレーション作品を新たに生む計画。



塩田千春「遠い記憶」(過去作品)
Photo:Osamu Nakamura



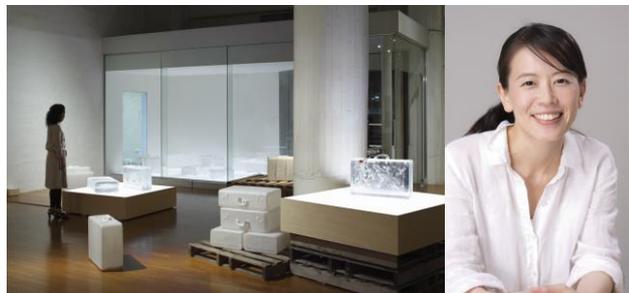
田根剛「エストニア国立博物館」 Photo:Takuji Shimmura



<女木島「小さなお店プロジェクト (仮称)」>

レアンドロ・エルリッヒ、宮永愛子、KOURYOU ほか

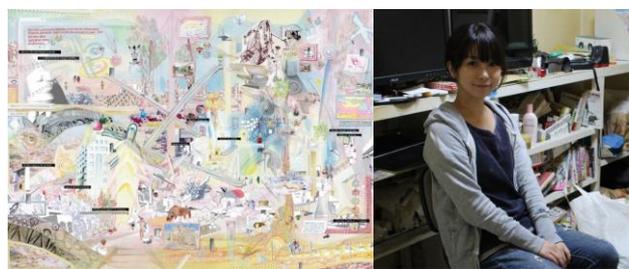
女木島では、島の人たちにとって便利で、他所から来る人にとっては特色あるスポットとなるような、個性ある「小さなお店」の作品を展開する。「レストラン イアラ 女木島」内の人気作品「不在の存在」を2010年に制作したレアンドロ・エルリッヒは、コインランドリーを開店予定。芸術祭会期中に高松市美術館で企画展を行う宮永愛子や急速に頭角をあらわしつつある若手作家 KOURYOU 等が小さなお店を考案中。



宮永愛子「手紙」(過去作品) Photo: Keizo Kioku



(上下とも)レアンドロ・エルリッヒ「Six Cycles」
(2018)©How Art Museum (参考画像)



KOURYOU「諸芸術のタテモノたちが佇む聖なる廃墟」(過去作品)

その他注目の新規作家・プロジェクト

<直島>

越智良江

劇作家・演出家。演劇を通じたWSや作品作りを、様々な土地や人々に寄り添い多彩に創造する。代表作に、落語「三年目」を新しい目線から描いた「贋作・三年目」、民話を元に書き下ろした「椿の田」「夏色クレヨン」など。文化ホール・高校・企業でのWSや講演も行う。



<豊島>

井筒耕平／会田大也

《井筒耕平》

1975年生。宿+エネルギーの会社・(株)sonraku 代表取締役。岡山県西粟倉村で「あわくら温泉元湯」と木質バイオマス事業、香川県豊島で「mamma」を運営しながら、再エネ、お風呂屋、やど屋、ローカルベンチャー育成などの分野において、全国各地を旅気分でもコンサルティングを行う。博士（環境学）。



《会田大也》

ミュージアムエデュケーター／ワークショップデザイナー。山口情報芸術センター[YCAM]などミュージアムを起点として、学校外での教育企画や利用者が発想する新しい公園作りのプロジェクトなどを手がける一方、『ROLLING@TAG』

(GOODMANARTS CENTRE / Singapore)、など展覧会での発表も行う。



<男木島>

遠藤利克

岐阜県出身。仏像彫刻を志すも、挫折。以降、水をテーマとした作品制作を夢想するようになる。水は、その物質的属性から離れ、共同幻想としての現象性自体へと転移していった。同時に、水の対抗的物質としての火が現れ、次第に、水と火と生命が相互連関的に渦巻くダイナミズムの中に、人間が取り組むべき芸術行為というものの根幹が、あるいは存在の秘密が潜んでいると考えるに至る。



<小豆島>

キム・キョンミン

韓国。多摩美術大学美術博士取得（2008年）。

個展 KIM KYOUNG MIN 展（日本、韓国、中国）



<大島>

鴻池朋子

1960年秋田県出身 埼玉県日高市在住。おもちゃ、雑貨のデザインを経て、1998年より絵画、彫刻、映像、アニメーション、絵本、手芸、パフォーマンスなど、様々なメディアでトータルインスタレーションを行い現代の神話を発表、芸術の問い直しを試みている。



<沙弥島>

Yotta

木崎公隆・山脇弘道による現代アートのユニット。2010年結成。ジャンルや枠組み、ルールや不文律など、あらゆる価値観の境界線を発表の場としており、それらを融解させるような作品制作を行っている第18回岡本太郎現代芸術賞 岡本太郎賞受賞。



<本島>

中村厚子

1982年石川県生まれ。武蔵野美術大学で建築、草月流でいけ花を学んだ後、ロンドン大学スレード美術学校彫刻専攻修了。

人間と自然の関係に焦点をあて、その場に潜む固有のエネルギーやその記憶、過去から未来へと超越する時間を、流木、塩、水などの素材、波や気温などの現象を用い〈私が作る部分〉と〈自然が作る部分〉を意識的に組み合わせ、それを空間に介入させ顕在化する。



<高見島>

梶井照陰

1976年生まれ、新潟県出身。1999年高野山大学密教学科卒業。1995年～1999年、高野山で修行。ベトナム、カンボジア、パプアニューギニアなど、世界各国を訪ね、積極的に取材して歩く。2004年、佐渡の波を撮り続けたシリーズで第1回フォイル・アワードを受賞、写真集『NAMI』を発表する。本作で、2005年度日本写真協会新人賞を受賞。現在、佐渡島にて真言宗の僧侶をしながら、写真家としての活動をおこなっている。



<伊吹島>

栗林隆

長崎県出身。武蔵野美術大学卒業後渡独、2002年ドイツデュッセルドルフ・クンストアカデミー修了（マイスターシューラー取得）。「境界」をテーマに数々の大掛かりなインスタレーション作品を制作。実際の空間や概念の反転を多く試みる。最近は、心の中に豊かな庭を作ると言う概念の「にわし」としての活動も開始。



<その他イベント・パフォーマンスアート>

ネオンダンス

2003年にイギリス、ロンドンにて結成され、国際的に活動するダンスカンパニー。エイドリアン・ハートが芸術監督を務める。映像や音楽など、様々なコラボレーションをとる作品を制作している。小さな劇場空間から大きな祝祭的空間まで多様なサイズの空間で行っていることも特徴的である。



伊藤キム

フィジカルシアターカンパニーGERO 主宰。87年舞踏家・古川あんに師事。95年「伊藤キム+輝く未来」結成。96年フランス・バニョレ国際振付賞など受賞。おやじが踊って給仕する「おやじカフェ」のプロデュースを国内外で行う。15年新カンパニーGEROを結成して10年ぶりに創作活動を再開。京都造形芸術大学客員教授。



<香川県ゆかりの注目作家・プロジェクト>

南条嘉毅

坂出市生まれの作家。自ら場所を訪れ、その場所の魅力や歴史や日常などに基づき、土を採取する。そうして持ち帰ったさまざまな情報を分析し作品に落とし込んでいく。

採取した土は乾燥しふるいにかけて、その分類した土を使い普段とは違った状況をインスタレーションとして作り出す。



南条嘉毅「シアターシュメール」(過去作品)
Photo:Keizo Kioku

宇川直宏

2010年東京のマンションの1室で、ライブストリーミングスタジオ兼チャンネル「DOMMUNE」を個人で開局。あらゆる文化領域に渡るアーカイヴ構築を目指し、メディアの可能性を極限にまで拡大してきた作家。高松市にサテライトスタジオ「DOMMUNE TAKAMATSU (仮称)」を開設し、瀬戸内と世界を結ぶ企画。



宇川直宏「DOMMUNE ライブストリーミング@日本科学未来館」(2012)



香川大学 × 小豆島夢プロジェクトチーム

香川大学創造工学部柴田悠基研究室と演出家の豊永純子が過去現在の小豆島を紐解き、未来の小豆島を演劇を通して考察するプロジェクトチーム。小豆島の中山農村歌舞伎舞台と肥土山農村歌舞伎舞台にて演劇を上演する。300年余りの歴史を持つ両舞台で演じられる奉納歌舞伎は、地元の方に愛され小豆島の伝統芸能となっている。



豊永純子「あの世の三人姉妹」(利賀演劇人コンクール 2012)

島で暮らす高校生は、自分の未来をどのように考え選択するのだろうか。個人的・社会的なあらゆる場面で起こる『選択』という行為を、小豆島を舞台に考え、人々が培ってきた歴史ある空間で地域の方々と共につむいでいく。

参加作家・プロジェクト一覧

会場名	初参加	作家・プロジェクト名	作品名又は施設名	国/活動国	新作 展示替え	イベント	
直島		大竹伸朗	直島銭湯「I♥湯」	日本			
		[建築] 西沢大良	宮浦ギャラリー六区	日本	○		
		藤本壮介	直島パヴィリオン	日本			
		草間彌生	赤かぼちゃ	日本			
		妹島和世+西沢立衛/SANAA	海の駅「なおしま」	日本			
		ジョゼ・デ・ギマランイス	BUNRAKU PUPPET	ポルトガル			
		安藤忠雄	ANDO MUSEUM	日本			
		三分一博志	直島ホール	日本			
		妹島和世+西沢立衛/SANAA	直島港ターミナル	日本			
		宮島達男	家プロジェクト「角屋」	日本			
		杉本博司	家プロジェクト「護王神社」	日本/アメリカ			
		ジェームズ・タレル	家プロジェクト「南寺」	アメリカ			
		須田悦弘	家プロジェクト「基会所」	日本			
		千住博	家プロジェクト「石橋」	日本			
		大竹伸朗	家プロジェクト「はいしや」	日本			
		内藤礼	家プロジェクト「きんざ」	日本			
		[建築] 安藤忠雄	ベネッセハウスミュージアム	—			
		—	ベネッセハウス周辺作品	—			
		[建築] 安藤忠雄	ベネッセハウスパーク	—			
		李禹煥 / [建築] 安藤忠雄	李禹煥美術館	韓国・日本	○		
		[建築] 安藤忠雄	地中美術館	—			
		安藤忠雄	桜の迷宮	日本			
		戸高千世子	彼方の気配	日本			
○	越智良江	未定	日本		○		
○	アミューズ	SETOUCHI THE MOVIE	日本		○		
	直島女文楽	未定	日本		○		
2		小計			2	3	
豊島		塩田千春	未定	日本/ドイツ	○		
	○	田根剛	未定	日本/フランス	○		
	○	井筒耕平/会田大也	未定	日本	○		
	○	垣内光司	未定	日本	○		
		横尾忠則 / [建築] 永山祐子	豊島横尾館	日本			
		トビアス・レーベルガー	あなたが愛するものは、あなたを泣かせもする (日本フランチイズバージョン)	ドイツ			
	○	[ディレクション] 皆川明 / [建築] 緒方慎一郎	ウミトタ	日本	○		
		大竹伸朗	針工場	日本	○		
		森万里子	トムナフーリ	日本/アメリカ			
		アンリ・サラ	豊島シーウォールハウス	アルバニア/ドイツ			
		ピピロッチェ・リスト	あなたの最初の色 (私の頭の中の解-私の胃の中の溶液)	スイス			
		青木野枝	空の粒子/唐櫃	日本			
		[建築] 安部良	島キッチン	日本			
		ジャネット・カーディフ & ジョージ・ビュレス・ミラー	ストームハウス	カナダ/ドイツ、カナダ			
		内藤礼 / [建築] 西沢立衛	豊島美術館	日本			
		クリスチャン・ポルトンスキー	ささやきの森	フランス			
		イオベット&ボンズ	勝者はいないーマルチ・バスケットボール	スペイン			
		クリスチャン・ポルトンスキー	心臓音のアーカイブ	フランス			
		スプツニ子! / [建築] 成瀬友梨、猪熊純	豊島八百万ラボ	日本/アメリカ、日本			
		島のお誕生会			日本		○
	4		小計			6	1

会場名	初参加	作家・プロジェクト名	作品名又は施設名	国/活動国	新作 展示替え	イベント
女木島	○	宮永愛子	未定	日本	○	
		レアンドロ・エルリッヒ	未定	アルゼンチン	○	
	○	KOURYOU	未定	日本	○	
	○	oi! 油街実現 康楽及文化事務署	未定	香港	○	
		木村崇人	カモメの駐車場	日本		
		禿鷹墳上	20世紀の回想	中国/日本		
		愛知県立芸術大学瀬戸内 アートプロジェクトチーム	MEGI HOUSE	日本	○	○
		レアンドロ・エルリッヒ	不在の存在	アルゼンチン		
		大竹伸朗	女根/めこん	日本		
		依田洋一朗	ISLAND THEATRE MEGI 「女木島名画座」	日本/アメリカ		
		杉浦康益	段々の風	日本		
		オニノコプロダクション	オニノコプロジェクト	日本		
		女木島名画座上映会			日本	
3	小計				5	2
男木島		TEAM男気	未定	日本	○	
	○	遠藤利克	未定	日本	○	
	○	村山悟郎	未定	日本	○	
	○	グレゴール・シュナイダー	未定	ドイツ	○	
	○	サラ・ウェストファル	未定	ドイツ/ベルギー	○	
		オンパ・ファクトリー	オンパ・ファクトリー	日本		
		川島猛とドリームフレンズ	カレードスコープ ブラック&ホワイト	日本	○	
		ジャウメ・ブレンサ	男木島の魂	スペイン		
		眞壁陸二	男木島 路地壁画プロジェクト wallalley	日本		
		松本秋則	アキノリウム	日本		
		リン・ティエンミャオ [林天苗]	自転-公転	中国		
		栗真由美	記憶のボトル	日本		
		漆の家プロジェクト	漆の家	日本		
		大岩オスカル	部屋の中の部屋	ブラジル/アメリカ		
		高橋治希	SEA VINE	日本	○	
		山口啓介	歩く方舟	日本		
		レジーナ・シルバイラ	青空を夢見て	ブラジル		
4	小計				7	
小豆島	○	キム・キョンミン [金景賢]	未定	韓国	○	
		リン・シュンロン [林舜龍]	未定	台湾	○	
		未定	未定 (四海地区で検討中)	-	○	
		チェ・ジョンファ [崔正化]	太陽の贈り物	韓国		
		コシノジュンコ	アートノショーターミナル	日本	○	
		目	迷路のまち ～変幻自在の路地空間～	日本		
		齋藤正人	猪鹿垣の島	日本		
		秩父前衛派	ダイナマイト・ トラヴァース変奏曲	日本		
		竹腰耕平	小豆島の木	日本		
	○	後山阿南	未定	日本		○
	○	シャン・ヤン [向阳]	未定	中国	○	
		広島市立大学	未定	日本	○	
		ワン・ウェンチー [王文志]	未定	台湾	○	
	○	Dadawa (朱哲琴)	未定	中国	○	○
	福武ハウス	「アジア・アート・プラットフォーム」、 「ビジュツカン」、 「葺田パヴィリオン」	-	○		

会場名	初参加	作家・プロジェクト名	作品名又は施設名	国/活動国	新作 展示替え	イベント
小豆島		入江早耶	未定	日本	○	
		康夏奈	花寿波島の秘密	日本		
		土井満治	境界線の庭	日本		
		伊東敏光+ 康夏奈+ 広島市立大学芸術学部有志	潮耳荘	日本		
		中山英之建築設計事務所	石の島の石	日本		
		島田陽	おおきな曲面のある小屋	日本		
		清水久和	オリーブのリーゼント	日本		
		ドットアーキテクト	Umaki camp	日本		
		岸本真之	つぎつぎきんつぎ	日本		
		ヤノベケンジ	スター・アンガー	日本		
		ビートたけし×ヤノベケンジ	アンガー・フロム・ザ・ボトム 美井戸神社	日本		
		清水久和	愛のポラード	日本		
	○	香川大学× 小豆島夢プロジェクトチーム	未定	日本		○
		ままごと	未定	日本		○
	5	小計				10
大島	○	鴻池朋子	未定	日本	○	
		山川冬樹	未定	日本	○	
		田島征三	未定	日本	○	
		やさしい美術プロジェクト	未定	日本	○	
	○	クリスティアン・ バステリアンス	未定	オランダ	○	
		カフェ・シヨル		日本		
		やさしい美術プロジェクト	(つながりの家) GALLERY15「海のこだま」	日本		
		田島征三	森の小径	日本		
		田島征三	青空水族館	日本		
		山川冬樹	歩みきたりて	日本		
		大島子どもサマーキャンプ		—		○
	大島交歓会		—		○	
2	小計				5	2
犬島		[アーティスティックディ レクター] 長谷川祐子/ [建築] 妹島和世	犬島「家プロジェクト」	日本		
	○	ベアトリス・ミリャーゼス	A邸	ブラジル	○	
		荒神明香	S邸	日本		
		名和晃平	F邸	日本		
		オラファー・エリアソン	I邸	ドイツ		
		下平千夏	C邸	日本		
		浅井裕介	石職人の家跡	日本		
		妹島和世	中の谷東屋	日本		
		[アート] 柳幸典/ [建築] 三分一博志	犬島精錬所美術館	日本		
	妹島和世+明るい部屋	犬島 ぐらしの植物園	日本			
1	小計				1	
沙弥島		大岩オスカー	未定	ブラジル/アメリカ	○	
	○	アナヒタ・ラズミ	未定	イラン/ドイツ	○	
	○	南条嘉毅	未定	日本	○	
	○	Yotta	未定	日本	○	
		ターニャ・ブレミンガー	階層・地層・層	ロシア/イスラエル		
		藤本修三	八人九脚	日本		
		市民煎茶グループ曙	未定	日本		○
3	小計				4	1

会場名	初参加	作家・プロジェクト名	作品名又は施設名	国/活動国	新作 展示替え	イベント
本島	○	ラックス・メディア・コレクティブ	未定	インド	○	
	○	中村厚子	未定	日本	○	
		石井章	Vertrek「出航」	日本		
		川口豊・内藤香織	シーボルトガーデン	日本		
		村尾かずこ	漆喰・鏝絵かんぱんプロジェクト	日本		
		眞壁陸二	威臨の家	日本		
		古郡弘	産屋から、殯屋から	日本		
		ツェ・スーメイ	Moony Tunes	ルクセンブルク/ドイツ		
		アレクサンドル・ポノマリョフ	水の下空	ロシア		
		齊藤正×続・塩飽大工衆	善根湯×版築プロジェクト	日本		
	2	小計			2	
高見島		京都精華大学	未定	日本	○	
		野村正人	未定	日本	○	
	○	梶井照陰	未定	日本	○	
		中島伽耶子	うつりかわりの家	日本		
		内田晴之+小川文子+田辺桂	除虫菊の家	日本		
		中島伽耶子	時のふる家	日本		
	1	小計			3	
粟島		日比野克彦	未定	日本	○	
	○	未定(日比野氏推薦作家)	未定	-	○	
	○	ディン・Q・レ&サン・アート	未定	ベトナム/アメリカ	○	
	○	リチャード・ストライトマター・トラン	未定	ベトナム	○	
		日比野克彦	瀬戸内海底探査船 美術館プロジェクト	日本		
		山田紗子	須田港待合所プロジェクト 「みなとのロープハウス」	日本		
		ムニール・ファトゥミ	未定	モロッコ/フランス	○	
		エステル・ストックカー	思考の輪郭	イタリア/オーストリア		
	○	瀬戸内少女歌劇団	未定	日本		○
	4	小計			5	1
伊吹島	○	エコ・ヌグロホ	未定	インドネシア	○	
	○	栗林隆	未定	日本/インドネシア	○	
	○	メラ・ヤルスマ+ ニンデティヨ・アルディブルノモ	未定	インドネシア、 インドネシア/オランダ	○	
		石井大五	トイレの家	日本		
		コンタクト・ゴンゾ	伊吹島ドリフト伝説	日本		
		みかんぐみ+明治大学学生	イリコ庵	日本		
	3	小計			3	
高松港周辺	○	宇川直宏	未定	日本	○	
	○	太田泰友×岡薫/香川大学 国際希少糖研究教育機構	未定	日本	○	
		西堀隆史	未定	日本/タイ	○	
		平尾成志×瀬ト内工芸ズ。	未定	日本	○	
	○	未定(漆作家)	未定	日本	○	
	○	石原秀則	未定	日本	○	
	○	SABFmakers	SETOUCHI ART BOOK FAIR	日本		○
		未定	未定(屋島で検討中)	-	○	
		未定	未定(四国村で検討中)	-	○	
		大巻伸嗣	Liminal Air -core-	日本		
		リン・シュンロン [林舜龍]	国境を越えて・海	台湾		
		ジュリアン・オピー	銀行家、看護師、 探偵、弁護士	イギリス		
		谷山恭子	I'm here. ここにいるよ。	日本		
	本間純	待つ人/内海さん	日本			

会場名	初参加	作家・プロジェクト名	作品名又は施設名	国/活動国	新作 展示替え	イベント
高松港周辺		香川県立ミュージアム 自然に挑む 江戸の超(スーパー)グラフィック — 高松平家博物図譜		—	○	
		香川県立ミュージアム 祭礼百態 — 香川・瀬戸内の「風流」(ふりゅう)		—	○	
		香川県立ミュージアム 日本建築の自画像：探研究者たちのもの語り		—	○	
		高松市美術館特別展「宮永愛子展」(仮)		—	○	
		ヴェロニク・ジュマール	ウェルカム/ファニーブルー	フランス		
		ジョン・クルメリング	Watch Tower	オランダ		
	○	Vocal Asia	未定	アジア各国		○
	○ (再掲)	クリスティアン・ バステリアンス	未定	オランダ		○
○	サファリ・P	未定	日本		○	
8	小計				12	4
宇野港周辺		未定	芸術祭拠点施設(仮)	—	○	
		内田晴之	海の記憶	日本		
		エステル・ストッカー	JR宇野みなと線 アートプロジェクト	イタリア/オーストリア		
		宇野港「連絡船の町」プロジェクト		—		
		小沢敦志	舟底の記憶	日本		
		淀川テクニク	宇野のチヌ/宇野コチヌ	日本		
		小沢敦志	終点の先へ	日本		
	nomad note dance	未定	日本		○	
	小計				1	1
広域・回遊		ジョゼ・デ・ギマランイス	フラワー・ハッピーズネーク	ポルトガル		
	○ (再掲)	Vocal Asia	未定	アジア各国		○
		切腹ピストルズ	未定	日本		○
1	小計					2
場所等 調整中	○	山下麻衣+小林直人	未定	日本	○	
	○	金氏徹平	未定	日本	○	
	○	ロサ・バルバ	未定	イタリア	○	
	○	ハンス・オブ・デ・ピーク	未定	ベルギー	○	
	○	アリシア・クワデ	未定	ポーランド/ドイツ	○	
	○	クー・ジュンガ	未定	韓国	○	
	○	レオニート・チシコフ	未定	ロシア	○	
	○	ニコラ・フロック	未定	フランス	○	
	○	未定(オーストラリア作家)	未定	オーストラリア	○	
		EAT&ART TARO	未定	日本	○	
	○	東京藝術大学+ シカゴ美術館附属美術大学	未定	日本+アメリカ	○	
	○	伊藤キム	未定	日本		○
		世田谷シルク	未定	日本		○
		ベビー・ビー	未定	日本		○
○	jiku	未定	日本・アメリカ		○	
○	ネオンダンス	未定	イギリス		○	
○	未定(ベトナムの伝統民族音楽家)	未定	ベトナム		○	
14	小計				11	6
合計	55				77	27

今回参加作家・プロジェクト 184 組(30 の国と地域)、191 作品・27 イベント)

作品鑑賞パスポート

すべての会期で有効な「3シーズンパスポート」と、春・夏・秋それぞれの会期のみに有効な「会期限定パスポート」を販売します。なお、15歳以下は鑑賞無料です。

3シーズンパスポート 4,800円（前売り特別価格 3,800円）

瀬戸内国際芸術祭 2019 の会期中、芸術祭の参加作品（施設）を各 1 回鑑賞できます（地中美術館、豊島美術館、その他一部の作品・イベントは別途料金が必要です）。

前売り期間：2018年11月8日（木）～2019年4月25日（木）

※16歳から18歳の方は身分証の提示により 3,000円 で販売します（当日現地販売のみ）。

会期限定パスポート（春用・夏用・秋用）各 4,000円

春用は春会期中、夏用は夏会期中、秋用は秋会期中、芸術祭の参加作品（施設）を各 1 回鑑賞できます（地中美術館、豊島美術館、その他一部の作品・イベントは別途料金が必要です）。

春用は 2019年4月26日（金）から、夏用・秋用は直前の会期の終了後に販売を開始します。

※16歳から18歳の方は身分証の提示により 2,500円 で販売します（当日現地販売のみ）。

※前売り価格の設定はありません。

購入方法

瀬戸内国際芸術祭公式ウェブサイト、コンビニエンスストアほか各種プレイガイドで販売します。公式ウェブサイトでは、初めてオンライン決済を導入し、海外からも購入できます。

なお、一部の窓口販売以外では引換券の販売となります。会期中、高松港等に設置する瀬戸内国際芸術祭の案内所で実券と引き換えてください。また、コンビニ端末等での入力コードは、芸術祭公式サイトに順次掲載していきます。

お得な作品鑑賞パスポート利用特典

作品鑑賞パスポートの提示により、下記の特典を受けられます。

- ・芸術祭の有料イベントを割引価格でご覧いただけます。
- ・お車をご利用の方は、高松港の専用駐車場を無料で利用できます。
（3シーズンパスポートは2回、会期限定パスポートは1回の無料駐車が可能）
- ・香川県・岡山県内の文化施設、観光施設などでの割引が受けられます。
（割引が受けられる施設は、芸術祭公式サイトに順次掲載予定）

アクセス

瀬戸内国際芸術祭の会場の多くは離島です。船を乗り継ぎ、島を巡りながら、アート作品とともに、瀬戸内の多島美や島の文化、暮らしに触れることが瀬戸内国際芸術祭の醍醐味です。会期中は、来場者に快適にその魅力を味わっていただけるよう、航路事業者等の協力のもと、海上交通の利便性向上を図ります。

芸術祭会期中の航路（東の7島）

直島、豊島など東の7島へのアクセスについて、瀬戸内国際芸術祭 2019 の会期中、複数の航路が増便されます。また、通常は直接渡ることができない島同士を結ぶ航路（臨時航路）が運航されます（海上運送法所定の手続き完了後に確定します）。

<会場までの主な航路と所要時間>

出発	到着	所要時間（目安）	出発	到着	所要時間（目安）
高松	直島	フェリー：60分 高速船：30分	宇野	直島	フェリー：20分 旅客船：15分
		豊島			旅客船：35分
	女木島	フェリー：20分		小豆島	フェリー：90分 旅客船：40分
	男木島	フェリー：40分			
	小豆島	フェリー：60分 高速船：35分	宝伝	犬島	旅客船：10分
	大島	旅客船：30分	※宝伝港へは岡山駅からの直行バスで約50分		

<予定している臨時航路>

- ・直島 - 男木島 - 大島（※土日祝とお盆のみ）
- ・小豆島 - 直島、小豆島 - 犬島



瀬戸内国際芸術祭 2019 フェリー 8 航路限定 3 日間乗り放題乗船券
2,500 円（前売り特別価格 2,200 円）
小学生は 1,250 円（前売り特別価格 1,100 円）

フェリーでゆったりと快適な船旅を楽しみたい方には、東の 7 島のうち 5 島を結ぶフェリーが 3 日間乗り放題となる乗船券がお勧めです。

前売り期間：2018 年 11 月 8 日（木）～2019 年 4 月 25 日（木）

- ・対象航路 | 高松港、宇野港と島々（直島・豊島・女木島・男木島・小豆島）を結ぶフェリー 8 航路
 - ・有効期間 | 利用開始日から 3 日間（有効期間内は何度でも乗船できます）
 - ・販売場所 | コンビニエンスストアほか各種プレイガイド
- ※会期中、関係船会社の切符販売窓口、瀬戸内国際芸術祭の案内所で実券と引き換えてください。また、コンビニ端末等での入力コードは、芸術祭公式サイトに順次掲載していきます。

芸術祭会期中の航路（西の4島）

本島（丸亀市）や伊吹島（観音寺市）など秋会期の会場となる西の4島へのアクセスについて、瀬戸内国際芸術祭 2019 の会期中、複数の航路が増便されます。また、通常は直接渡ることができない島同士を結ぶ航路（臨時航路）が運航されます（海上運送法所定の手続き完了後に確定します）。

<会場までの航路と所要時間>

出発	到着	所要時間（目安）	出発	到着	所要時間（目安）
丸亀	本島	フェリー：35分 旅客船：20分	須田	粟島	旅客船：15分
児島		旅客船：30分	観音寺	伊吹島	旅客船：25分
多度津	高見島	フェリー：25分			

<予定している臨時航路>

- ・本島 - 高見島 - 粟島



高松空港の充実した海外ネットワークの活用

充実した国際線（ソウル線、上海線、台北線及び香港線）並びに東京便（羽田・成田）が就航する高松空港を利用し、多くの海外からの観光客に、より便利に芸術祭を訪れていただけます。

アクセス Access

主要都市から高松港まで
To Takamatsu from Major Cities

飛行機で Air Plane

東京(羽田) Tokyo (Haneda)	ANA/JAL—80分 ANA/JAL—80 min.
東京(成田) Tokyo (Narita)	JJP—90分 JJP—90 min.
台湾 Taiwan	CI—160分 CI—160 min.
ソウル Seoul	RS—100分 RS—100 min.
上海 Shanghai	9C—120分 9C—120 min.
香港 Hongkong	UO—220分 UO—220 min.

新幹線で Shinkansen

東京駅 Tokyo St.	200分 200 min.	広島駅 Hiroshima St.	40分 40 min.
名古屋駅 Nagoya St.	100分 100 min.	博多駅 Hakata St.	100分 100 min.
新大阪駅 Shin-Osaka St.	60分 60 min.		

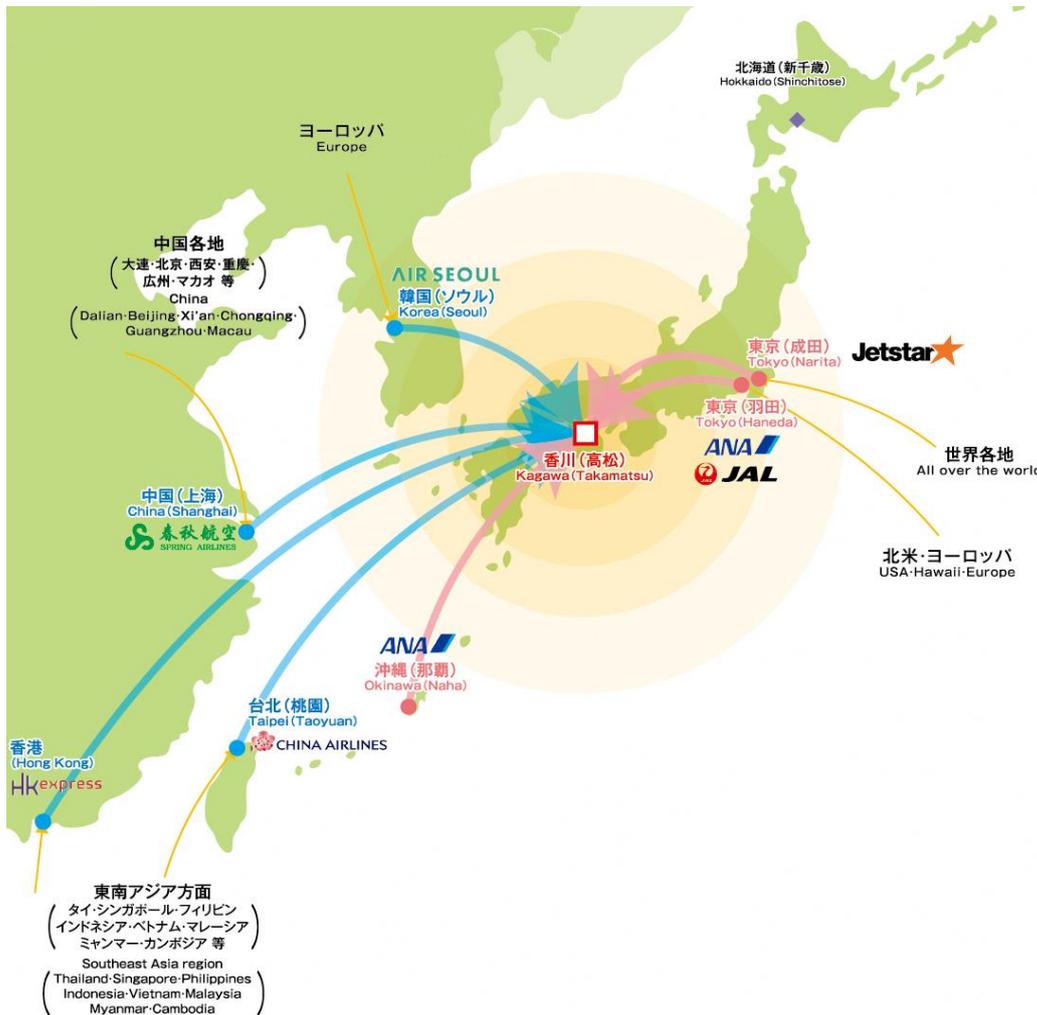
岡山駅
Okayama St.
快速マリンライナー—60分
Rapid Service—60 min.

高速バスで Highway Bus

東京駅 Tokyo St.	620分 620 min.	名古屋駅 Nagoya St.	410分 410 min.	京都駅 Kyoto St.	220分 220 min.	大阪駅 Osaka St.	220分 220 min.
神戸(三宮駅) Kobe (Sannomiya St.)	170分 170 min.	広島駅 Hiroshima St.	220分 220 min.	博多駅 Hakata St.	600分 600 min.		

高松空港
Takamatsu Airport
リムジンバス—45分
Limousine Bus—45 min.

高松駅 / 高松港
Takamatsu St. / Takamatsu Port



来場者への情報提供

来場者のニーズに応じた情報を、来場者が事前に計画を立てる段階や、実際に現地を訪れてからなど、時期に応じた適切な情報を様々な媒体で届けます。また、それらを多言語化し、海外からの来場者にもタイムリーな情報を届けます。

公式ウェブサイト (https://setouchi-artfest.jp)

公式ウェブサイトに、芸術祭に関する情報を集約し、5ヵ国語（日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語）で、総合的に発信します。また、公式ガイドブックや公式モバイルアプリなどと連携し、来場者が芸術祭を鑑賞するために必要な情報を発信します。

11月7日（水）より、瀬戸内国際芸術祭 2019 の開幕に向けて、順次、デザインや掲載内容を整備し、公開してまいります。

<参考画像 (PC版)>

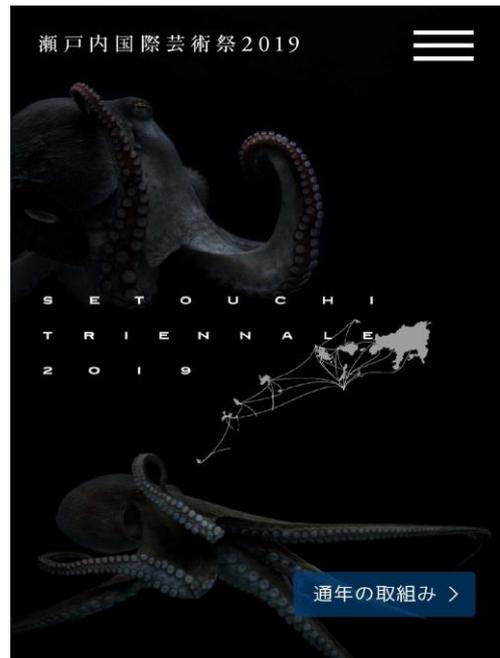


(参考ページ①)



(参考ページ②)

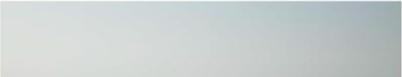
<参考画像(スマートフォン・タブレット版)>



ふれあう春：4月26日|金―5月26日|日
あつまる夏：7月19日|金―8月25日|日
ひろがる秋：9月28日|土―11月4日|月

瀬戸内国際芸術祭を知る
作品鑑賞パスポートを買う

新着情報



(参考スクロール画像)

公式ガイドブック

来場者が「これ一冊で芸術祭を巡れる」ように、作品情報を網羅し、芸術祭のみどころを紹介するだけでなく、交通や食に関する情報も盛り込んだガイドブックを発行します。回を重ねるごとに増える外国人来場者に対応するため、英語版（電子書籍）を発行します。

- ・発行日 | 2019年4月上旬（予定）
- ・販売価格 | 未定



公式モバイルアプリ

来場者に、よりスムーズに瀬戸内の旅を楽しんでいただくため、船の乗換案内や作品までの経路検索機能を搭載した、多言語対応の無料アプリを配信します。

- ・配信開始日 | 2019年3月（予定）
- ・対応 OS | iOS、Android

案内所の設置

芸術祭のマザーポートとなる高松港をはじめ、宇野港、会場の島々や本土側の港、JR駅等に案内所を設置し、作品やイベントの案内、交通機関や作品施設での混雑情報など芸術祭に関する情報提供を行います。

オフィシャルツアー等

オフィシャルツアー

瀬戸内国際芸術祭では、アーティストがそれぞれの島の文化、歴史、風景を生かした、その場でしか表現できない作品を展開し、来場者は作品鑑賞のみならずそこでしかできない体験や島民との交流を深めてもらうことを目指しています。

今回、新たな試みとして実施する「オフィシャルツアー」は、芸術祭の開催趣旨やこれまでの取り組みの成果について理解し、より深く芸術祭の魅力や瀬戸内の「食」を楽しんでいただく、予約制のガイド付きツアーです。

<コース> (全7コース)

	対象島	料金 (一人当たり)
A	豊島・犬島	13,800円
B	大島・女木島・男木島	9,800円
C	小豆島	9,800円
D	宇野港・犬島	9,800円
E	沙弥島(春会期のみ)	9,800円
F	本島・高見島(秋会期のみ)	14,800円
G	伊吹島・粟島(秋会期のみ)	14,800円



※全て高松港発着。定期船(フェリー)を利用するCコースとバスのみを利用するEコースを除き、ツアー専用のチャーター船を利用します。

※会期中は、毎日1本又は2本のツアーを催行します(曜日ごとに出発コースが異なります)。

カスタマイズツアー

旅行者の希望に応じた旅の企画や提案、施設等の手配を行う「カスタマイズツアー」を有償で実施します。

旅行業者からの委託を受けて、カスタマイズツアー専用のガイドチームによるアテンド・ガイド、チャーター船等移動手段、瀬戸内国際芸術祭・食プロジェクトのレストランを含む食事施設、瀬戸内国際芸術祭公式イベントのチケット手配等、島のコンシェルジュとしてオリジナルのカスタマイズツアーを提供します。

芸術祭サポーター

アーティストと地域をつなぎ、作品と来場者を結ぶ役割を担う重要な存在となるのが、地元をはじめ国内外から集まるサポーターです。作品制作や会期中の作品・イベントの運営、会期外における島の地域行事への参加など、広く芸術祭を支えます。

ボランティアサポーター「こえび隊」、地域・企業サポーター

前回、日本全国、世界各地から延べ7,000人が参加した「こえび隊」が引き続き活躍します。こえび隊の活動は芸術祭や地域を支えるだけでなく、芸術祭が目指す地域再生の取組みを広く内外に伝えていきます。特に、多くのアジアからの参加者を通じて、瀬戸内とアジアをつなぎます。

また、地域住民や地元企業・団体、学校など、地域を最も知る人たちがボランティアとして加わって、「人」（地域住民、来場者、アーティストなど）と地域をつなぐコミュニケーションのプラットフォームとなり、芸術祭を支えます。



（高松港での朝礼の様子）



（作品での受付の様子）

連携・交流

芸術祭の盛り上がりは、今や会場の島々だけにとどまりません。県内外のさまざまな主体が芸術祭に呼応して行う取組みが、全国、世界に広がりつつあります。

また、現代アートの力を借りる芸術祭の取組みは、会場となる島と島に新たな連携を模索させ、地域の活性化を促していきます。

広域連携事業

瀬戸内国際芸術祭 2019 と同じ年、全国で様々なアートフェスティバルなどが開催されます。瀬戸内国際芸術祭はこれらと広報等で連携し、日本全国でアートが地域の活力を取り戻すことに貢献します。

<現段階で連携を予定している事業>

- ・UBE ビエンナーレ（現代日本彫刻展）（山口県宇部市）
- ・あいちトリエンナーレ 2019（愛知県）
- ・岡山芸術交流 2019（岡山県岡山市）
- ・Reborn-Art Festival 2019（宮城県石巻市）
- ・三陸防災復興プロジェクト 2019（岩手県）
- ・せとうち美術館ネットワーク（本州四国連絡高速道路株式会社）

県内連携事業

瀬戸内国際芸術祭 2019 の会期中、芸術祭にとどまらず、来場者に、もう一歩足を延ばしてもらい、香川県内の様々なアートや伝統的なお祭りなど、地域資源の魅力を味わっていただきます。

島間交流事業

瀬戸内国際芸術祭の会場となっている島の方々が互いに交流する機会を設けることにより、他の島の取組みの好事例を参考にしてもらうとともに、島おこしの取組み等について情報交換を行い、島間における人的ネットワークの形成を支援します。また、そこで生まれたネットワークをもとに、住民が主体となった地域活動の活性化を図ります。

協賛企業等

助 成

文化庁 | 公益財団法人福武財団

パートナー

アサヒビール株式会社・アサヒグループホールディングス株式会社 |
鹿島建設株式会社 | カトーレック株式会社 | 株式会社 JTB | 日本郵便株式会社 |
公益財団法人福武財団 | 株式会社ベネッセホールディングス | 株式会社レクザム |

協 賛

四国旅客鉄道株式会社 | イオンリテール株式会社 | 日本たばこ産業株式会社 | 野村證券株式会社 |
三井不動産株式会社 | 両備グループ | 株式会社アミューズ | 大日本印刷株式会社 | 花王株式会社 |
株式会社七宝 | 大和証券株式会社 | ハヤカワ電線工業株式会社 | 株式会社ビーバーホームズ |
株式会社百十四銀行 | ユウ・ティ・イー株式会社 | 株式会社マルナカ | 高松琴平電気鉄道株式会社 |
全日本空輸株式会社高松支店 | 日本航空株式会社高松支店 | アオイ電子株式会社 |
有限会社アキヤマ自販 | アセッターズ株式会社 | 株式会社 NTTドコモ |
オリエンタルモーター株式会社高松事業所 | 株式会社香川銀行 | 香川県信用金庫協会 | 香川県信用組合 |
香川証券株式会社 | かどや製油株式会社 | 木下製粉株式会社 | 株式会社ぐるなび | 株式会社サムソン |
株式会社三光エンジニアリング | 四国電力株式会社 | 株式会社資生堂 | 帝國製菓株式会社 |
東洋アルミニウム株式会社 | 公益財団法人南海育英会 | 株式会社日本総険 |
一般財団法人阪大微生物病研究会 | 公益財団法人松平公益会 | 森ビル株式会社 | 株式会社合田工務店 |
株式会社クレディセゾン中四国支社 | AIGLE | 株式会社菅組 | ホッピービバレッジ株式会社 |
株式会社 IHI 四国支社 | 株式会社アムロン | 株式会社石垣 | 有限会社井上誠耕園 | 大紀商事株式会社 |
大倉工業株式会社 | 株式会社大林組 | 岡山ガス株式会社 | 一般社団法人香川県建設業協会 |
香川県建設業協会高松支部 | 香川県農業協同組合 | 香川県農業協同組合中央会・各連合会 |
香川県ホテル旅館生活衛生同業組合 | 株式会社クボタ | クボタ環境サービス株式会社 |
琴平バス株式会社 | 一般財団法人小豆島オリーブ公園 | 小豆島交通株式会社 |
一般財団法人小豆島ふるさと村 | 新日本印刷株式会社 | 瀬戸内温泉たまの湯 | 台湾三三企業交流会 |
高松帝酸株式会社 | 株式会社タクテック | 谷口建設興業株式会社 | 株式会社トーカイ |
凸版印刷株式会社 | 株式会社トヨタレンタリース岡山 | 中庭住宅株式会社 | 株式会社西崎組 |
二十四の瞳映画村 | 日本通運株式会社 | 日本アジアグループ株式会社 | ばいこう堂株式会社 |
株式会社福本ボデー | 株式会社マキタ | 松谷化学工業株式会社 | 三井物産株式会社四国支店 |
三菱電機株式会社 | 株式会社ムレコミュニケーションズ | 四国団扇株式会社 | 大和板紙株式会社 |
株式会社 S T N e t | 岡山放送株式会社 | 香川県漁業協同組合連合会 | 小竹興業株式会社 |
株式会社日栄建設 | 株式会社フューチャー・デザイン・ラボ | 勇心酒造株式会社 | 葵機工株式会社 |
株式会社岡山高島屋 | 一般社団法人香川県トラック協会 | 鎌田商事株式会社 | 鎌田醤油株式会社 |
株式会社北四国グラビア印刷 | 協和化学工業株式会社 | 株式会社クリエアナブキ |
後藤設備工業株式会社 | 株式会社サニーエイト | さぬき丸一製麺株式会社 |
株式会社ジェイテクト香川工場 | 小豆島醤油協同組合 | 小豆島調理食品工業協同組合 |
株式会社塵芥センター | 第一生命保険株式会社 | 株式会社デンシヨク | 株式会社東京スター銀行 |
株式会社トロンマネージメント | 西日本電信電話株式会社香川支店 | 株式会社松本光春商店 |
株式会社レオマユニティー | 四電エンジニアリング株式会社 | 四電ビジネス株式会社 |

協賛企業等

(協賛続き)

e B A S E 株式会社 | 高松商運株式会社 | 有限会社エイファーマ | 香川県建設業協会小豆支部 |
香川県建設業協会西讃支部 | 香川県建設業協会中讃支部 | 香川県建設業協会長尾支部 |
香川県舗装協会 | 株式会社木村建設 | 三聖建設株式会社 | シンボルタワー開発株式会社 |
株式会社総合開発 | 大同ゴム株式会社 | 株式会社高岸工務店 | 宝田電産株式会社 |
株式会社田中建設 | 中央開発株式会社 | 有限会社手ぬぐい工房ポスター堂 |
株式会社トヨタレンタリース東四国 | 富士産業株式会社 | 株式会社プロエンザイム |
丸八商工株式会社 | 三豊運送株式会社 | 株式会社名物かまど | 有限会社エイトヒルズ・コーポレーション |
阿波製紙株式会社 | 石丸製麺株式会社 | 内海フェリー株式会社 | 株式会社旺建 |
香川県タクシー協同組合 | 一般社団法人香川県バス協会 | 香川県旅客船協会 |
川田工業株式会社四国工場 | 株式会社きんでん四国支社 | 株式会社グリーンフィールドグラフィック |
株式会社香西工務店 | 堺屋醤油株式会社 | 株式会社ジェイアール四国企画 | 株式会社 J R 四国ホテルズ |
四国オーエム株式会社 | 株式会社四国総合研究所 | 手芸センタードリーム | 小豆島国際ホテル |
セキ株式会社 | 東洋オリブ株式会社 | 東洋工業株式会社 | 徳寿工業株式会社 | 株式会社長峰製作所 |
日生化学株式会社 | 日本生命保険相互会社 | ハウス美装工業株式会社 | 株式会社藤田工務店 |
株式会社 F U J I D A N | 株式会社伏見製薬所 | ベイリゾートホテル小豆島 | 丸善工業株式会社 |
株式会社宮地サルベージ | 矢崎総業四国販売株式会社 | 吉原食糧株式会社 |
株式会社ライブイノベーション | 税理士法人六条 | ワンナワードライ東宝 |

(2018年10月31日現在)



(撮影：上田義彦)

瀬戸内国際芸術祭 2019 メインビジュアルのデザインについて

グラフィックデザイナー 原 研哉

今回の瀬戸内国際芸術祭のメインビジュアルは「海中の生物」がテーマ。瀬戸内に暮らす人々になじみがあり、瀬戸内の魅力がギュッと詰まった生物を素材に、瀬戸内国際芸術祭の魅力を発信できるビジュアルを作成しました。

平穏な瀬戸内海ですが、海の中は暗く、水中の生き物たちがひしめく世界です。

これまでのヴィジュアルとは裏腹に、一見、恐ろしげな「蛸」「鯛」そして「アナゴ」の様相。

瀬戸内国際芸術祭も来年で4回目。マンネリを打破するのに必要なものは「？」と「！」です。

遠くから眺めただけではわかりませんが、近寄ってみると、人の目を奪い、とても心に残るヴィジュアルであります。

これまでとは違った瀬戸内国際芸術祭のヴィジュアルに触れて、島々をめぐる船の上で、ぜひ新たなアートの様相に想いを馳せてみてください。

原 研哉

グラフィックデザイナー。(株)日本デザインセンター代表取締役。武蔵野美術大学教授。デザインを生活に蓄えられた普遍的な知恵ととらえて活動。無印良品、蔦屋書店のアートディレクション、GINZA SIXの仕事などで知られる。著書『デザインのデザイン』『白』『日本のデザイン』は多言語に翻訳されている。

上田 義彦

写真家。多摩美術大学グラフィックデザイン学科教授。代表作に、ネイティブアメリカンの神聖な森を撮影した『QUINAULT』、前衛舞踏家・天児牛大のポートレート集『AMAGATSU』、生命の源をテーマにした『Materia』シリーズ、30 有余年の活動を集大成した写真集『A Life with Camera』など。近著には、『FOREST 印象と記憶 1989-2017』、一枚の白い紙に落ちる深淵な「光と影」のモノクロームの写真群『68TH STREET』がある。